

(秩父市ピアレビュー研修)
平成22年12月16日
22日

基本事業評価と事務事業評価の検討

稲沢克祐(いなざわ かつひろ) 博士(経済学)

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

1959年 群馬県生 1982年 東北大学卒業

1984年 東北大学大学院教育学研究科博士課程中退

2006年4月から 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

2002年8月から 監査法人トーマツ学術顧問(名古屋事務所、大阪事務所)

【専門分野】 行政評価論、公会計論、地方財政論

【著 書】

- ・「自治体 歳入確保の実践方法」、学陽書房、2010年10月
- ・「自治体における公会計改革」、同文館出版、2009年9月
- ・「行政評価の導入と活用」、イマジン出版、2008年8月
- ・「自治体の市場化テスト」、学陽書房、2006年6月
- ・「英国地方政府会計改革論」、ぎょうせい、2006年1月
- ・「公会計」(単著)、同文館出版、2005年5月 ほか

【活 動】

- ・ 秩父市行政経営アドバイザー(2008年4月～)
- ・ 大阪市提案競争型民間活用監理委員会委員長(2008年8月～)
- ・ 大阪府包括外部監査人補助者(2008年5月～)
- ・ 全国知事会頭脳センター(政策シンクタンク)専門委員(2007年5月～)
- ・ 愛知県市場化テスト監理委員会委員長(2007年5月～)
- ・ 内閣府官民競争入札等監理委員会専門委員(2006年10月～)
- ・ 外務省政策評価アドバイザー委員(2006年8月～) ほか

基本事業評価の実施と検討

関西学院大学 稲沢克祐

1 行政評価と部課長の役割

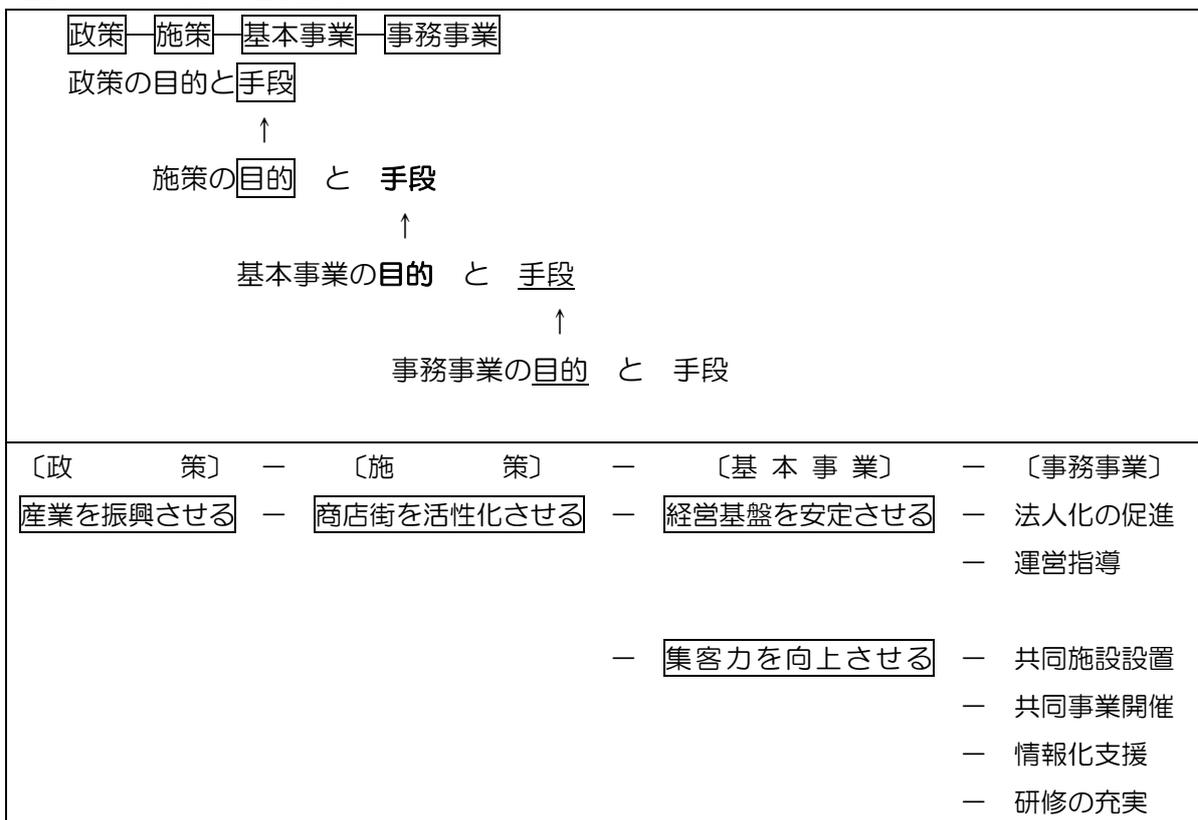
政策の体系：四層構造による場合

図表一1 四層構造の政策のピラミッド

政 策	政 策
目 標 達 成 の 手 段	施 策
同手段達成のための下位手段	基 本 事 業
同手段達成のための下位手段の下位手段	事 務 事 業

(長野県茅野市の例)

図表一2 政策の連鎖体系



(出典)松戸市政策目的体系図から作成

2 基本事業評価と事務事業評価のポイント

(1) 事務事業評価

事務事業評価の評価

【目的】

事務事業について、公的関与の必要性、手段の妥当性、効率性、有効性の観点から課題を見つけ出し、改善案を検討する。

(2) 基本事業評価

【目的】

1. 総合振興計画の進捗管理
2. 基本事業評価項目による課題の発見
3. 構成事務事業の重点化（相対化）、取り組みの方向性
※ここで、事務事業の相対化がおこなわれる。
 - ① 拡大基調（有効性改革）
 - ② 生産性向上
 - ③ 効率性向上
 - ④ 協働化
 - ⑤ 現状維持、⑥縮小、⑦廃止

(3) 事務事業評価

【目的】

基本事業評価を受けて、事務事業評価を、もう一度精査。

特に、

1. 相対的緊急性から見た 「公的関与の妥当性」
2. 事務事業の重点化から見た 「有効性」
3. 事務事業の重点化から見た 「成果の方向性とコスト投入の方向性」

※ ここで、事務事業の相対化がおこなわれる。

3 基本事業評価の理解

ポイント<1> 基本事業の概要における記述

- 概要を読めば、他の課の職員でも内容が理解できるようになっているか

ポイント<2> 対象と意図、基本事業指標

- 「対象と意図」と「基本事業指標」
- 「基本事業の意図」と「基本事業指標」

基本事業の意図は？

基本事業指標は？

- 基本事業の評価（裏面）「基本事業指標の分析」の記述

指標から見られる傾向は？

傾向から考えられる課題は？

課題から考えられる今後の方向性は？

ポイント<3> 基本事業構成事務事業の重点化と方向性 と 基本事業を構成する事務事業の妥当性

- 重点化 と 基本事業の評価「事務事業の重点化の理由」

重点化の理由：注力の重点化、資源配分の重点化

- 重点化 と 今後の方向性

重点化と今後の方向性

➤ 基本事業構成事務事業の妥当性 と 新規に実施する事務事業との関連

事務事業構成の妥当性と新規に実施する事務事業の整合性

新規に実施する事務事業がある場合に、改善のため休廃止する事務事業は？

検討ポイント<4> 評価と事務事業評価との連動

基本事業評価を受けて、事務事業評価をどのように考えるか。

1. 重点化

2 今後の方向性

検討ポイント<5> 具体的な改善提案

3段階に明瞭に分けているか